

2024年11月19日

アート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND」、 米・マイアミで開催の「SCOPE MIAMI BEACH 2024」に出展 ～世界屈指のアートフェアで日本の美意識に基づいたアート空間の表現に挑戦～

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：小林統／以下、丹青社）がサービスを提供するアート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND（ビーオウンド）」は、2024年12月3日（火）よりアメリカ・マイアミにて開催される「SCOPE MIAMI BEACH 2024」に昨年に続き出展します。



過去開催の「SCOPE MIAMI BEACH 2023」の様子

「SCOPE MIAMI BEACH 2024」は、マイアミビーチ上に設けられた巨大な会場内に130以上の国際的なアートギャラリーが出展する、世界屈指のアートフェアです。

ブースでは、B-OWNDがプロデュースするアーティストを含めた3名・150点に加え、当社と2023年に業務提携を締結した茶のスタートアップ・TeaRoomが初めてアートコレクティブとして参加し、空間自体をアートとして表現する茶会「"Ichinen" — The Life Force at Every Moment」を展示・販売します。他にもマンガ・アニメなどの著名作家とのコラボレーション作品の発表も予定しておりますが、こちらの詳細は後日改めて発表いたします。

B-OWNDは2019年のサービス提供開始以来、日本のアートとしての工芸の普及に向けて、日本の美意識を伝える各種イベントの開催や常設ギャラリーの開設など、さまざまな取り組みを行ってきました。海外事業を進めることにより、日本の美意識に基づいた空間づくりの国際的な価値向上への貢献を目指してまいります。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

■「SCOPE MIAMI BEACH 2024」概要

会期 2024年12月3日（火）～2024年12月8日（日）

会場 SCOPE MIAMI BEACH pavilion（801 Ocean drive Miami beach, FL33139,USA）

主催 SCOPE

公式ウェブサイト <https://scope-art.com/>

■B-OWND ブース 概要

会場 G019・H021

内容 2つのブースの内一つは、B-OWNDに参加するアーティスト3名による日本の伝統的な美意識や工芸に現代性が掛け算された新作約150点とマンガ・アニメなどの著名作家とコラボレーションした作品を展示いたします。もう一つのブースでは、TeaRoomと共同で茶の湯を基盤としたインスタレーション作品を発表します。本作品では、茶の湯が建築、庭園、茶器、いけばな、掛け軸、食といった多様な要素を統合し、450年以上にわたって確立されてきた総合芸術であることをアート作品として提示いたします。現代アートでは個々の作品が独立した形を強調するために、ホワイトキューブ内で展示される傾向がありますが、本展示では、その傾向に反し、すべての要素が調和されたインスタレーション作品として空間及び体験ごと作品化します。

■TeaRoom 代表 岩本涼氏 コメント

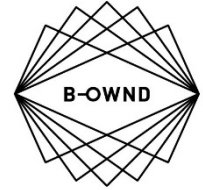
TeaRoomでの活動が企業という隔たりすらも越え、今回アーティスト集団としてデビューさせていただくことになりました。戦争が意図的に起こされる時代。多くの方々が分断に心を痛める中、私たちは一盃（いちわん）の茶を通じて何を提供できるのかを創業より考え続けてまいりました。天災の多い国だからこそ、アニミズムに始まる自然への畏怖。その思想を物を通じて語っていきたくと思っています。千利休が行った場作り。場の価値を高めてこそ、その工芸の価値も上がっていく。場を創造してきた私たちにとって、世界に大切な問いを投げかける素晴らしい機会をいただきました。改めて自国の文化と向き合い、この国が問うてきた価値を世界の価値としてお届けしたいと考えています。

■丹青社 企画開発センター 事業開発統括部 B-OWND プロデューサー 石上賢 コメント

今年も世界最大級のマイアミ/アートフェアに参加し、B-OWND所属の3名の作家による作品展示に加え、TeaRoomと共同で茶の湯を基盤としたインスタレーション作品を発表します。作品を通して茶の湯が持つ多層的・多層的な文脈の魅力を新たな形で表現していくと共に、作品単体で消費されてしまう西洋式の『点』の評価方法を踏襲するのではなく、さまざまな文化的要素を統合できる様式を含んだ『面』で評価される土壌をつくり、日本の工芸品や文化が持つ歴史性と付加価値をアートの文脈との接続により創出する試みを開始いたします。

■B-OWND について

2019年5月よりサービスを開始した、日本の美を表現する最高峰のアートとしての工芸作品を取り扱うオンラインマーケットです。アーティストと作品を丁寧に紹介することで、作家と購入者を繋ぐ場としてのプラットフォームを目指しています。また、B-OWNDでは、ブロックチェーンによるデジタル作品証明書付きの作品を購入することができます。作品を購入した事実が半永久的に記録され、個々人の美意識がアート工芸の歴史に刻まれていきます。



■ 丹青社について

「ここを動かす空間づくりのプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社
所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F 〒108-8220 (本社)
設立 : 1946年10月
資本金 : 40億2,675万657円 (2024年1月31日現在)
上場 : 東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 9743 / 業種名: サービス業)
URL : <https://www.tanseisha.co.jp>

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

古賀崇洋

日本文化の「不完全性を愛でる」という美意識を、戦国時代に花開いた「わびさび」などシンプルで簡素なものだけではなく、派手な歌舞伎や侍文化にも垣間見られることに着目し、現代の志高い武将たちへエールを送る「頬鎧盃」や招き猫等の縁起物をモチーフにした代表的なシリーズを展示いたします。



酒井智也

「アイデンティティ」という普遍的でありながら個人的な感覚を探求し、「記憶」をテーマに制作しているアーティスト。古今東西の神をモチーフに取り入れ、集団的なアイデンティティや視点の多様性に光を当てる「Spirit」というシリーズの国外初展示となります。



中村弘峰

「もしも江戸時代の人形師が現代にタイムスリップしたならばどのような作品が生まれるのか」という発想を基に制作しているアーティスト。本展では、福岡市博多の伝統神事山笠の山車の制作技法からインスピレーションを得た新シリーズの平面作品および新作の立体作品を発表します。



TeaRoom

茶の湯関連文化事業を手掛ける同社が初のアートコレクティブとして参加。

【作品概要：アート茶会「"Ichinen" — The Life Force at Every Moment】

作品名："Ichinen" — The Life Force at Every Moment

アーティスト名：TeaRoom

制作年：2024年

コンセプト：

一盃（いちわん）を通じた祈り——それは、日常という平凡の中に秘められた崇高さを見出す行為である。万物は朽ち、生命はやがて塵へと帰る。それでもなお、私たちは茶の儀式を通じて、刹那の調和と静謐な美を見いだす。茶とは、単なる飲み物ではなく、分断を調和へと変える一念の象徴である。

作品構成内容：

茶室、茶会にて使用される全ての茶器、掛け軸/花器などの設え、茶会を開催する権利など全てが含まれる作品として展示販売いたします。